

夏休中の健康保育

廣 瀨 興

永い夏休みが終つて、幼児達が眞黒く日焦けして元氣に歸つて来るのを誰しも希はぬものはありません。併しそれには保護者達に夏休み前に充分の心得を持たしめて豫め萬善の方途を講ぜねばなりません。折角、平素、園児達にいろく躰けをしても、夏休みは、家庭で不注意に我儘のさせ放題があり勝ちであるから、休暇後、すつかり、悪い癖のつくことがある。このことは保健的方面にも云ふことが出来ます。却つて體重が減少したり、筋肉が弛緩したり、貧血したり、微熱を出したり、非常に神經質になつたりするところがあります。殊に夏休み中、海岸や山に避暑につれて行く幼児には充分の注意が肝心です。

避暑地の選擇ですがこれは幼児の體質によつて定めべきで、神經質で虚弱の體質のものは山の消極的の保育が適し、海岸の荒い氣候に耐えられるものは積極的の保育がよろしい。併し、我國には山さして適當の場所が極めて少く餘程注意し、工夫をこらさねば却つて轉地の效をなくするところがあります。山は一般に朝夕の溫差が甚しいこと、又、所

によつて濕度が高く高温高濕無風の不適氣象の状態が有り勝ちである。幼児の運動が狭い範圍に行はれて海岸より運動量が少くなる。殊に雨でも續くこと一層運動不足になる。又、山は肉類魚貝類が少い故榮養に注意し、殊に蛋白質の不足せぬ様心掛けねばなりません。煮干粉、めざし、昆布若芽なき持參するのも賢明であらう。今年は何處も物資不足であるから一層榮養に工夫することが大切であり、案外、田舎でありながら新鮮な野菜すら不充分的の土地さへあるものです。夏期であるから脂肪分は少くてよい理であるが脂肪に溶解して存在するビタミンAが不足なる故に特に肝油やビタミンAを持參するもよろしい。山は紫外線が強いから平地に生活してゐるより一般に食慾が旺盛で平素より多量に與へても差支へない。

之に反して、海邊は氣象が荒く濕氣も高い代りに風が多いから左程高濕の影響は甚しくない。併し同じ海邊でも山に圍れたところは蒸し暑く體のために適せぬ土地がある。同じ鎌倉でも適地と不適地があるのはそのためである。成

るべく通風のよいところがよい。我國では一般的に云つて山より海の方が健康地が多く幼児にまつては幾分虚弱體質でもその生活をよく工夫すれば海の方が適してゐる様である。夏休み後の成績も海から歸つたものゝ方が概して良好である。即ち虚弱の體質のものは轉地して直ぐ海水浴なごさせず、二、三日少しその土地に順應してから徐々に積極的の生活をさせねばならぬ。海水浴なごせずとも、裸體生活は充分紫外線の効果を利用したり、外氣の皮膚鍛鍊をする、こゝが出来るものです。皮膚の弱い幼児を急に海水浴させ、皮膚が第一度の火傷して遂に水疱を形成する程になるのは却つて有害である。徐々に外氣や日光にあて皮膚が徐々に著色する程度が望ましい。

海岸への轉住には中耳炎や皮膚病に罹り易い。中耳炎を防ぐには耳垢をよく除いて置き、海水浴後脱脂綿や紙こよりで海水分をよく浸み取るこゝが大切である。耳痛や發熱があれば直ちに醫療を求めねばならぬが醫師が間に合はねば耳部を冷し、アルバジルやトリアーンの如き藥劑を健胃劑と共に一應服用するこゝもよい。

皮膚病は皮膚の不清潔が原因となるが、夏期は入浴の回数が多いが却つて小兒はよく石鹼で洗はぬため、却つて耳殻や指股、腕窩、股間が不潔となり易い。よく充分石鹼にて洗つてやらねばならぬ。又、海水浴直後、歸宅前に海岸で

眞水で體を洗つてやるこゝも皮膚病を防ぐこゝが出来る。足の趾間なき特に清潔にせぬと水蟲を發生し夏休み中、そのために海水浴も出來ずして歸宅する事さへある。水蟲が發生しかつたら、ビチロールバスタを布にのして貼布するのが有効である。又、蟲に刺された後、爪で搔いて皮膚病を發するから、これも早くビチロールを貼布して爪でかかぬ様、工夫する必要がある。

急性結膜炎も亦、海水浴の際、起し易い病氣であるが之も浴後洗眼し、若し軽い結膜の充血であれば早く硼酸水で洗眼し、次いでコーハン水の點眼し、豫め注意するがよい。

日射病は高温高濕と無風状態のとき發生し易いから、海水浴場では却つて飲料水に注意し充分水分を與へ發汗をよくし、時々、日蔭で休息させねばならぬ。夏は便秘し勝ちで之もその原因となるから常に注意し毎日便通をつけるこゝが大切である。

下痢、消化不良症、腸カタルも起し易い病氣である。食餌の注意や手指清潔が大切で、夜間、腹部を冷却せぬこゝ、不消化物をいろいろ一時に食べ合せぬこゝ、又、その疑ひのあつたときは、アルシリン、カーボニンの如き炭末劑を早く服用させるがよい。勿論、一時、絶食させて様子を見る。この時、水分は充分に與へる。

海岸によつて飲料水の少い土地があるが、轉住地には、

良い水が多量に出ることが絶體に必要な條件である。殊に集團轉住の際は一層重要である。

轉住の前には百日咳、デフテリアの豫防注射、疫痢の内服ワクチン其他の豫防處置を忘れてはならない。

又、平素虚弱の幼児はよくその原因を確め、過激な生活の變化のため却つて身體の障碍を來たさしめぬ様、結核のツベルクリン反應、體重測定等施行して置くがよい。轉住後の數日は幼児の身體の様子を監視し異狀を見逃がさぬこゝが肝心である。

偏食兒であるから云つて高度のものを短日時に矯正する事は困難であるから、他の適當の榮養劑を與へながら矯正しなければならぬ。然らざれば却つて休暇後衰弱せしめて危険である。海岸は一般に野菜が不足勝ちであるから注意せねばならない。

以上は轉住する家庭への注意であるが一般家庭に於ても夏休みは同様の注意が必要で、幼児は夏休みが體位の向上の機會ともなり又却つて反對に身體を阻ふ原因ともなる故に休暇前によくその家庭に應じて注意を與へその幼児に適した健康教育を爲すべきで、無理に不適當の轉住なさせぬ様に指導せねばならない。

豆座談會 (三)

幼稚園の畫教育

S保母「幼稚園にまゐりましてからまた日も淺うございまして、分らないだらけでございしますが、幼稚園でしてなりました自由畫について何ひ度いと思ひます」

倉橋「なか／＼簡括に言はうとすると六ヶ難しい、又それで盡せないこともありませんが、まあ簡単に教場で云ふやうに簡條書きにしますと次の様です。

幼稚園畫教育の目的

次の様なことになりますね、

イ、表現要求に満足を與へること

ロ、それによつて表現要求を強くすること

ハ、又表現能力を養ふこと

ニ、併せて觀察の觀點を助けること

幼稚園畫教育の指導方針

目的に基き、技能教科として指導せぬこと

幼稚園畫教育の教案又は指導の實際狀況

自由描畫の機會を豊富にす

自由描畫につき表現内容の整理と表現能力とを援ける

時に以上の目的を分析して課題寫生共に行ふこともあつてよからう

幼稚園圖畫の特色

一、個性に基つて多し即ち創作的

二、印象本位、觀念本位にて必ずしも全面的正確ならず

部分的には時に極端な程正確を期す

指導上の注意

幼兒の描畫を幼兒の生活の一部として理解すること

扱て先生自身は充分藝術的素養を有し居ること

以上